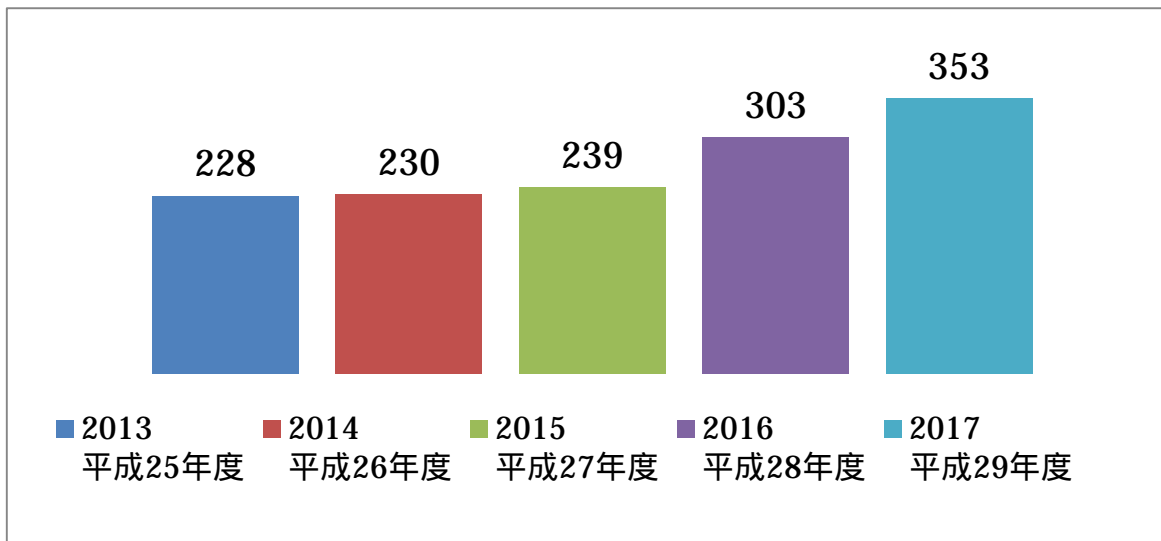
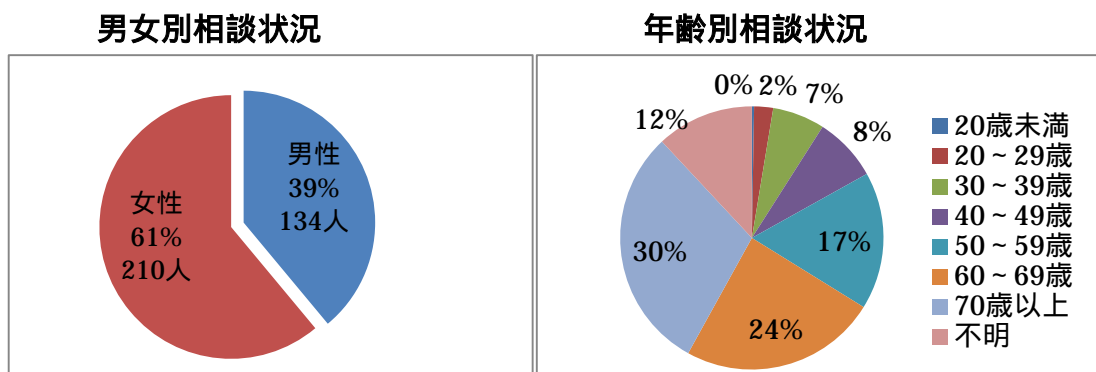


平成 29 年度の相談概要

年度別相談総件数の推移



2017 年度(平成 29 年度)の相談状況



(* 件数にはその他団体が 9 件含まれます。)

傾向と特徴

平成 29 年度の相談件数は、353 件(平成 28 年度 303 件) 前年対比 117%で 50 件の増であった。相談件数が増加した理由として「射水市消費生活センター」の相談窓口が周知されたことや訴訟取り下げ費用をだまし取ろうとする架空請求ハガキに関する相談や情報提供が多く寄せられたことによるものと考えられる。

男女比では女性が 61%、年齢別では 60 歳以上が半数以上を占めている。これは、県警が公表している特殊詐欺被害の認知件数と概ね一致し、高齢者の被害が多いことがうかがえる。

相談項目の上位

通信サービス

有料コンテンツの未払い料金を請求するメール、電話の光回線の転用や解約に関する相談など

架空請求

訴訟取り下げ費用をだまし取ろうとする架空請求ハガキに関する相談など

還付金詐欺

市役所の職員を語り医療費の還付金があると A T M へ誘導しお金をだまし取る詐欺に関する相談など